

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【内谷中】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能は高い水準で習得できている生徒が多い中、学習への取組み方には課題を感じている生徒も一定数みられる。 <指導上の課題> 反復練習や個人的な振り返りをする時間を十分に確保できていない。	⇒ ドリルパークやスタディサプリ等のデジタル教材を活用し、基本的な知識・技能の定着を図る。【学期ごとに1回実施】 中学校での既習単元や小学校での学習内容を配信することで、学習した内容を振り返る機会を設ける。【学期ごとに1回実施】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 自らの考えを文章で表す能力に偏りがみられ、特に記述問題においては無回答になってしまう生徒が多い。 <指導上の課題> 生徒の成果に至る過程をデジタル教材などに記録し評価する機会を十分に確保できていない。	⇒ 振り返りシートやスクールダッシュボード等で授業内容を振り返る際にルーブリック等の手段を使い、評価規準を明確に生徒に示し、生徒自身が活動の中で目標を意識できるような工夫をする。自分の考えたことを表現する機会を設定することで、思考力・判断力・表現力を高めていく。【単元ごとに1回実施】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)